

放射性物質地下水質モニタリング調査

50百万円（50百万円）

水・大気環境局 地下水・地盤環境室

1. 事業の必要性・概要

東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故により環境中に放出された放射性物質による環境汚染が懸念されることから、放射性物質による環境の汚染状況を把握し、一体的でわかりやすい情報提供を行うため、総合モニタリング計画に基づき、関係省庁等が連携し、モニタリングを実施している。

このため、環境省において放射能汚染が特に懸念される地域（福島県及びその近隣県）の地下水について放射性セシウム等の測定を実施する。

2. 事業計画（業務内容）

地下水の放射性物質による汚染状況の推移を把握するため、福島県及び近隣県において、延べ800地点で地下水の放射性物質濃度の測定を実施する。

	H24	H25	H26	H27
放射性物質地下水質モニタリング				

3. 施策の効果

地下水については放射性物質に係る汚染がないことを監視し、適切に情報提供を行うことで、住民の不安解消と復旧・復興に資する。